



こんにちは

村田 けい子

2015.11.27
No.29

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

11・20(金)臨時議会で「リフト・ゴンドラ1.5日利用券」を新設

山の宿泊客とリフト利用者の増加を狙って、1.5日のサービスが新たに設定され提案された。これまでの「1日+半日利用料」よりも約25%増、およそ1,000人の集客増を期待しているそうです。

この案は、山のみなさんから出されたアイデアだそうです。早速この冬のシーズンに間に合わせるために提案、可決されました。

「一日+翌日午前」か「午後+翌日一日」できる1.5日の利用で大人4,900円 子ども3,200円の利用料です。宿泊事業者はこれに宿泊料を上乗せして、各事業所ごとに宣伝、販売することとなります。

この新サービスが呼び水となって町の白樺高原に大勢のお客さんが来てくれるとよいですね。



11・22(日)社会保障と介護保険についての学習会に参加。安曇野サンモリッツで

「保険あって介護なし」がいっそう進む危険が。負担は限界、事業所も廃業に。



「利用料が2割」「要支援は保険から除外」「要介護3以上でないと入れない」「食費・部屋代などへの補助外し」

2015年の4月以来、「改定」介護保険法が施行され、利用者と事業者双方に多くの困難が生まれています。介護報酬が2.27%引き下げられたことで小規模デイサービスや認知症グループホームなどで経営難となり、廃業するところが増えています。

また、介護福祉士の養成校では入学者が定員を大きく割り込む事態が続いており、今でも足りない介護現場が立ち行かなくなる事も予想されます。なんとヘルパーの平均給与は44.7才で21万8200円で、全産業の平均32万4000円(42才)よりも20万円も少なくなっていました。(厚労省平成25年度賃金構造基本統計調査)

改定により、要支援1.2の利用者は介護保険から外され、各種町村の総合事業として、対応されません。個々の分野での利用者は全体の6割を占める大きなサービスですが、利用できなくなります。(全国で160万人) 町は来年度に新総合事業を開始するとしています。

また、特養に入所できるのは原則として「要介護3」以上の方となり、追い出される危険も出てきます。(全国で205万人)

そして施設の食費・部屋代の補助は、貯金や配偶者の所得など、調査が行われ、対象外となる人も出てきます。

自己負担はこれまで1割でしたが、今度は所得160万円(収入280万円)以上の方は今年8月から2割負担となりました。

立科町では実際にどうなっているのか、今度の議会で質問したいと思います。また、住民の負担を軽減する手立てや、サービスを後退させない取り組みを求めています。

町では新たに、ツルヤの東側に新しい介護施設を作り、2億円の保証をしていますが、介護報酬の削減により、大きいところでは1,000万円近くの報酬減となっているとのこと。運営が心配されます。

利用者のみなさんの声、
ご相談をお聞かせください。



来春のために
植え付け (野方)



野方にある月産業会社の前の農地で腰を下ろして話すお二人。お礼を申し上げようとお話すると、来春のためにチューリップの球根を植えたとのこと。畝(うね)に沿ってたくさんの球根が植え付けられていました。この場所は子供達と一緒に植えるのだそうですが今回は雨のため断念、お二人での作業となったとのこと。来年の春が楽しみです。いつもありがとうございます。

スタンディング
@たてしな
毎週土曜日
午前11:30
から30分
ツルヤ信号前

12・13(日)ごご1:30~3:00

日本共産党演説会

佐久平交流センター

お話し紙 智子参議院議員
藤岡義英 県議会議員



「TPPは決まっています。国会決議を順守させましょう。」

2000万人署名に
ご協力を

「戦争法廃止！」の国民連合政府を考える！
みなさん、ぜひ、ご参加ください。
お待ちしております。

11.25 「子どもの医療費、窓口負担をなくしてください。一部負担金もなくして文字通りの無料制度に」

母親の切実な声を届け
県との交渉



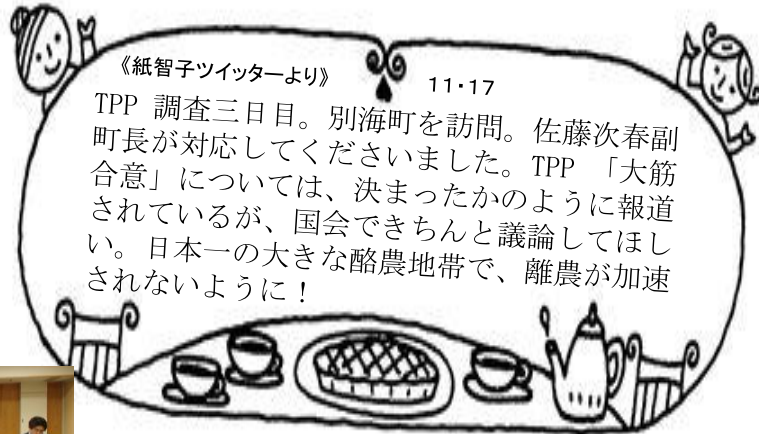
県庁の会議室で

9月27日に行われた長野県母親大会の申し合わせ事項に基づき、各県の各担当者に母親の切実な声を届けました。

・家族で八百屋さんを営む女性からは、所得税法56条を改正してほしいという訴えがありました。白色申告の場合、家族の働き分としてわずか86万円、息子さんは50万円。事業主に至ってはわずか38万円の控除しか受けられないというもので、これでは息子に一人前の給料を保証することができないという訴えです。

・私もTPPによる県内の影響はどれほどか、長野県の主力産業である農業、コメ、リンゴ、ワイン用ブドウなどへの保護策はどうするのか、と発言しました。

交渉に先立ち、両角友成県議会議員より県政についての報告があり、その中でJAによる影響額は1029億円との試算が示されました。町でもリンゴやワイン用のブドウ栽培に力を入れていますが、関税ゼロとなれば安い外国産がどっと入り、町内の農家は壊滅的な打撃を受けます。



《紙智子ツイッターより》

11・17

TPP 調査三日目。別海町を訪問。佐藤次春副町長が対応してくださいました。TPP「大筋合意」については、決まったかのように報道されているが、国会できちんと議論してほしい。日本一の大きな酪農地帯で、離農が加速されないように！



・生活と健康を守る会の方からは、生活保護法の改悪で、住宅手当や冬の灯油代などが減らされ、ストーブがつけられない、カップラーメンで過ごしているなど、ひどい生活実態が語られました。

・医療費の窓口無料では、子どもを4人持っている家庭では次々と病気にかかり、その都度3割払うのは重い負担となる。全国的に行われていないのは長野県の他1県だけ。ぜひ無料化を実施してほしいと発言。

《今でもコメの値段は安い》 ペットボトル500mlで403g
コシヒカリ 95円 あきたこまち 57円 茶碗一杯 17円
vs ミネラルウォーター 110円

日本のコメ 平均で 11,000円/60kg (生産費は16,000)
アメリカ産のコメは 何んと 3,000円 / 60kg

土地は日本の25倍の広さ(一人当たり)ですからね。
国民に減反を押し付ける一方、今度は関税なしに入る米、7万8400トンの輸入枠を新たに設けます。アメリカの利益最優先の合意です。国会決議違反の「協定は国会で批准するな」と運動を。

11.24 山本宣治の記念碑を訪ねて...戦争への暴走に立ちはだかった労農党の代議士

女性後援会のイベントで別所温泉に。日本が戦争に突き進む時代にこれに抗い、治安維持法で捕まった同志たちへの取り調べを国会で暴露し政府の暴虐ぶりを告発。これを嫌った政府により東京神田の旅館で暗殺された。40歳であった。タカクラテル氏は上田の農民を対象に「自由大学」を開き、夫人と従兄で生物学博士でもあった山宣は乞われて、産児制限などの授業も行った。彼の死を悼み農民たちがお金を出し合って建立した。戦時中は取り壊しを命じられたが、「柏谷別荘」の主人がこれを守り通し、戦後ここに置かれた。ここにはタカクラテルと、この碑を守り通した旅館の主人、齋藤房雄氏の碑が並んでいる。

長野山宣会により、年に一度、前祭が行われている。

